

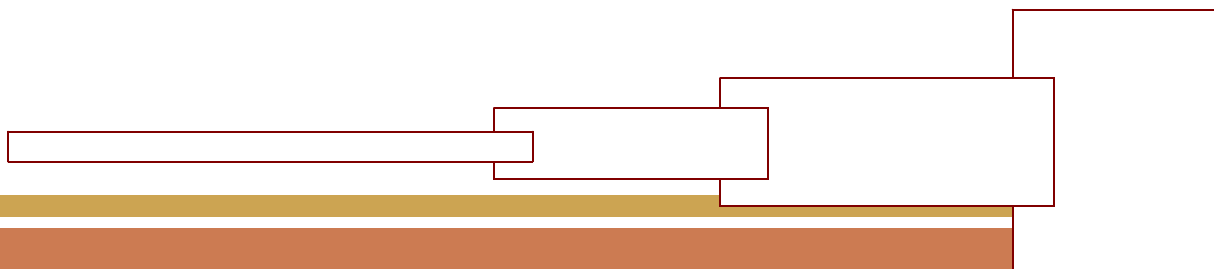
全国学習塾協同組合主催
2024年塾・教育総合展in東京

教え方日本一を目指して、先生としての勉強の仕方を考える。
ものごとの本質的理解のために！

東京ポートシティ竹芝オフィスタワー内
東京都立産業貿易センター浜松町館 3F展示室

2024年1月12日(金)
11:00～11:15

開倫塾 塾長
林 明夫
(公益財団法人文字・活字文化推進機構 評議員)
(一般社団法人栃木県生産性本部 会長)



Q 1 : 「教え方日本一」を目指す先生としての勉強の仕方は何ですか。

ものごとの本質的理解のために、何を、どのように学んだらよいとお考えですか。

A : (1) 担当教科の小学 4 年生から高校 3 年生までの指導内容を、まずは、学校教科書を用いて、一語一語、ていねいに、理解することが第一と考えます。

○小学 4 年生から高校 3 年生までのどの学年の児童や生徒が目の前に現れても、学校教科書をしっかり教えられるようにすることが、「教え方日本一」を目指す先生の第一歩だからです。

(2) 小学 4 年生から高校 3 年生までの教科書を一語一語、ていねいに読み、理解する。

授業するときに、わかりやすく説明ができないと思われる語句がある場合には、辞書や教科別の用語集、教科別の参考書などを用いて、意味や概念などを調べる。

(3) 辞書などで調べたことは、必ずノートやカードに書き写す。

Q 2 : それからどうしたらよいのですか。

A : (1) すべての教科の学校教科書は、何も見ないで、スラスラ、よく聞き取れる発音で、よく読めるようになるまで、何回も、繰り返し、声を出して読む練習、「音読練習」を繰り返す。「暗唱」する。

(2) 教科書に掲載されている語句はすべて、「書き順」も含め、「楷書」で、「正確」に、「美しく」書けるようになるまで書く練習、「書き取り練習」を繰り返す。

(3) 特に、「～とは、～だ」という、教科書に出ているすべての「ことば」の「定義（ことばの意味）」は、何も見ないで、スラスラ、口をついて正確に言えるまでにする（暗唱する）。

○「書き順」も含め、「楷書」で、正確に、美しく書けるまでにする（暗記する）。

Q 3 : 小学校・中学校・高校の学校教科書に出ている計算や問題は どうしたらよいのですか。

A : (1) ノートやカードに計算・問題を書き写し、その下に、解き方も含め、正解を書き残す。

(2) ① 解けない計算・問題があったら、学年別参考書、教科別の辞典（算数事典・数学事典、理科学事典、物理事典・化学事典・生物事典）などを用いて参考にする。

② 教科書の指導書・教科書ガイドなども活用する。

③ 教室で、児童・生徒の前で立ち往生しないように、解けない計算・問題をゼロにする。

(3) ① 以上のようにして、担当教科の小学 4 年生から高校 3 年生までの学校教科書 9 年分を、完全に理解し、完全に定着（身に着ける）させる。

② 「学校教科書」の「完全理解」「完全定着」が、「教え方日本一」を目指す先生の第一歩です。

③ 英語は、教科書準拠の「音声教材」をフル活用。「シャドーイング」を。

「教科書本文」、「練習問題本文と選択肢、正解」の丸暗記、「重要表現や新出語句、基本的な文法事項のやさしい英語による板書・説明」は、必須です。

○「教科書準拠」の「教材」や「問題集」も、すべて、英語でていねいに、わかりやすく指導できるまでにする。

Q 4 : 学習塾、予備校、私立学校で使用している「テキスト」「問題集」「模擬試験問題」「入学試験過去問題」を指導する際には、「教え方日本一」を目指す先生は、どのような勉強をしたらよいのでしょうか。

- A : (1)「学校教科書」と比べ、レベルの高い「テキスト」「問題集」「模試問題」「入試問題」を指導する場合であっても、担当教科の小学4年生から高校3年生までの「学校教科書」を、たとえ一種類でもよいから、「スミからスミまで、一語残らず全部覚える」。
- 完全に理解し、完全に定着させる。何も見ないで、スラスラと口をついて言えるまでに
する。書き順も含め、正確に、また、美しく書けるまでにする。
- (2)以上の取り組みをしながら、「学校教科書」と全く同じように、今ご勤務の「学習塾」「予備校」「私立学校」の「テキスト」「教材」「模擬試験」「塾生が受験するすべての私立中学校、公立中高一貫校、公立高校、私立高校、高等専門学校、大学総合選抜、大学共通テスト、大学独自テストなど、本試験、面接試験・論文試験など入試問題」を徹底研究。
- (3)＜積小為大＞
- ①少しずつでも、数年をかけて、ご自分の力で、毎日、コツコツノートに解き続ける。
 - ②解いた結果は必ず書き残す。
 - ③辞書や用語集、解答集などで調べた内容は、すべて書き残す。授業で児童・生徒に指導できるように、教えやすいよう、まとめておく。

Q 5 : 「教え方日本一」を目指す先生として、「本質的理解」にチャレンジするのに役に立つ参考書をご紹介します。

- A : (1)講談社新書シリーズ「ブルーバックス」は、全教科で一番お役に立つと確信します。
- 辞書は、岩波書店の広辞苑をおすすめします。
 - 英語の先生は、英語で授業することが求められますので、英英辞書を常用。英語の語句の意味を、わかりやすい英語で説明できなければ、今後、英語は教えられません。
- (2)文部科学省は「学力」を定義して、「主体的に学ぶ力」としました。
- 「主体的に学ぶ」とは何か。
 - 梶田叡一先生の「＜自己＞を育てる、真の主体性の確立」金子書房、1996年刊や、同著「自己意識論集（I～V）」東京書籍、2020年7月29日刊は、おすすめです。
- (3)今後は、各教科の専門性を高めると同時に、「探求型授業」を担当できるだけの、広い視野での識見を兼ね備えた「知識専門職としての教師」が求められます。
- (4)＜そのためには＞
- ①英字新聞を含む「紙の新聞」を、毎日、購読、「批判的思考能力」を鍛えること。
 - ②各教科や教育学の基本となる、大学・大学院レベルの、最新の教科書・論文に慣れ親しむこと。
 - 放送大学を活用し、学部レベル・大学院レベルの勉強を継続することをおすすめします。
 - 日本以外の多くの国の小・中・高校の先生の多くは大学院を修了しています。
 - 最新の知識を求め、いつかの「学会」に参加すること。
- (5)内村鑑三著「後世への最大遺物・デンマーク国の話」と「代表的日本人」（いずれも岩波文庫）で、「高い志」とは何かを学び、児童・生徒の「自覚を促す」。

- (6)①「何のために学ぶのか」
②「働くとは何か」
③「これからの社会で求められる能力とは何か」
④「生きる意味とは」
○「新聞」を毎日読み、「読書」、とりわけ、「古典との時空を超えた対話」を通し考える。
○先生としての思慮深さ、省察力、創造性や表現力を育てる。

Q 6 : 最後に一言どうぞ。

A : (1)毎年、2回開催の「全国模擬授業大会」にぜひご参加ください。

- ①毎年、5月の最終日曜日には、開倫塾主催、「全国模擬授業大会」が開催されます。今年、5月26日(日)、栃木県足利市の白鷗大学足利高校をお借りし、「チョーク一本で教育改革を」をテーマに、「第17回全国模擬授業大会」が開催されます。ぜひご出場ください。見学もどうぞ。
- ②毎年、10月の第3日曜日には、愛知県の野田塾様の主催で、名古屋市内の高校で「全国模擬授業大会 IN 名古屋」が開催されます。
- ③どちらとも、どなたでも、ご自由にご参加いただけます(団体戦もあります)。
○「教え方日本一」を目指す全国の先生方と、「励まし合う仲間づくり」をどうぞ。
- (2)「先生の目が輝けば、子どもたちの目は輝く。子どもたちの目が輝けば、やる気になり、学力も大幅アップ」<ブライト・アイ・セオリー>
○「元気なあいさつを!」「あいさつは、こちらからする」
- (3)「価値(大切さ)」「意味(意味づけ)」「秩序(自己決定、自律的に行動)」
①ものごとを行うときには、その「価値(大切さ)」とは何かを考え、認識。
②「自分にとっての意味を考え、意味付け」
③「では、何をどうするか、自己決定。秩序をもって、自律的に考え、行動」
○「自覚をもって学ぶ」よう、導く。
○「自覚を促す」ことも「先生としての力量」
- (4)「健康第一」です。「心の健康」、「身体の健康」。
○「定期健康診断」や「人間ドック」を毎年必ず受け、必要な検査・治療を積極活用してください。
○「歯の定期健診」も大切です!!

最後になりましたが、このような講演をさせていただくチャンスをおつくり頂いた、全国学習塾協同組合様に、心から感謝いたします。森理事長先生、川畑先生はじめ、先生方、事務スタッフの皆様に、心から感謝いたします。ありがとうございました。

ご清聴、ありがとうございました。

心から感謝いたします。

ご質問、ご意見、ご感想がありましたら、ぜひお聞かせください。